

FOCUS

追いかける。大学生。

学生団体「応援魂」

青い炎プロジェクト
全国キャラバン実施

いよいよ開幕したサッカー南アフリカワールドカップ。ベスト4を目指す日本代表に向けた応援メッセージを集めるため、「応援魂」が全国キャラバンを実施。2万ものメッセージが巨大ジャージに書き込まれた。

学生の思い 南アフリカへ届け

突 然キャンパスに現れた真っ青な巨大なジャージに、道行く学生の視線が集まる。「サッカー日本代表に、ぜひ応援メッセージを書いてください」。こちらも青いジャージを着た「応援魂」

のメンバーが声をかけると、続々と学生らが集まり、青地の巨大ジャージは白い文字で埋め尽くされた。「応援魂」の関西代表・岡部太一さん（同志社・3年）は「予想以上です」と興奮を隠しきれな



い様子だった。

「応援魂」は昨年3月、早大など関東の学生を中心に発足した。メンバーの中に広告研究会の学生が多かったため、同志社の広告研究会も参加。友人伝いで関西や九州にも広がっていったという。キャッチフレーズは「全ての学生を青に。そして大学を青に」。学生の日本代表の応援の拡大と、青いジャージを着て応援することの楽しさを多くの学生に実感してもらうことが目的だ。

今回のキャラバンでは、関東、関西、九州各支部のメンバーが持ち回りで全国の大学を行脚。5月24日の筑波大を皮切りに、東北大、宮崎教育大、北大、静大と回り、関西では同志社、立命、関学の順で巡った。メッセージが書き込まれたジャージは、実際に南アフリカの地で応援に使用されるといふ。

「内田（篤人）選手とか、僕らと同年代の選手も国を背

負って戦っている意味は重い。この活動が選手の力になれば」。

THIS WEEK

- 第3回Rマークプロモーションコンテストの最終プレゼンテーション大会が6月7日、立命衣笠キャンパスで開催された。
[6月7日 UNN]
- 工藤洋・京大生態学研究センター教授らの研究グループが、植物が約6週間周期で傾向を記憶し、気温の長期傾向に応じて遺伝子の働きを調節していることを示す研究成果を発表した。
[6月8日 UNN]
- 神戸大落語研究会による水無月寄席が6月7日から11日にかけて、同大国際化学部キャンパスの休養室で行われている。
[6月11日 UNN]



UNN 関西学生報道連盟

配信・発行 (C) UNN 関西学生報道連盟 (公式HP) <http://www.unn-news.com/>
■共同編集室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 3-21-9 駅前ビル 5F
(TEL) 06-6307-1315 (FAX) 06-6307-1316 (MAIL) info@unn-news.com

FOCUSは

神戸大学ニュースネット委員会
同志社大学 PRESS 編集部
NEWS 立命通信社
関学新月通信社
大阪大学 POST 編集部

関西大学タイムス編集部
神戸女学院大学 K.C.Press 編集部
京都女子大学藤花通信編集部
京都大学 EXPRESS 編集部

の共同編集による週刊フリーペーパーです